

KRI 保有の劣化解析技術、寿命推定技術、安全性関連技術の有効利用により電池の再就職(リユース)をサポートします

電池の診断 → 査定 → リユース → 運用

二次電池を長期運用するには、電池を診て(劣化診断)、価値を判断(査定)し、価値の高い用途にリユースすることが重要です

査定 金額・等級・合否などを調査したうえで決定すること(コトバンクより)

使用電池の劣化状態を把握し、その用途に応じた寿命/劣化予測により査定する必要があります

過去の使われ方



A社EV
B社HEV
D社……

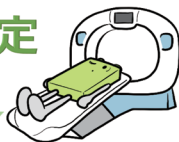


これからの使われ方

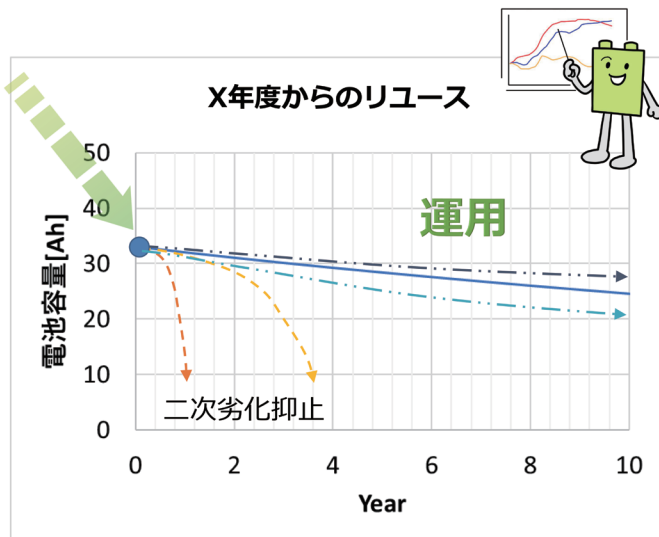
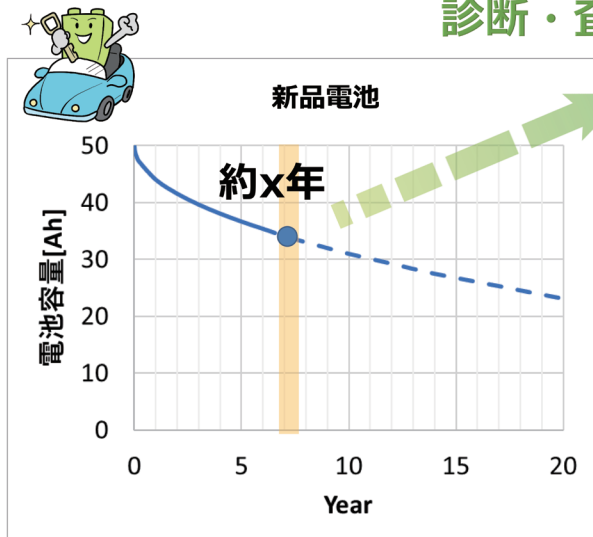
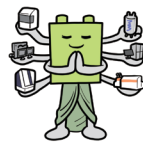
X社Energy Storage
Y社BCP
Z社AGV ……



診断・査定

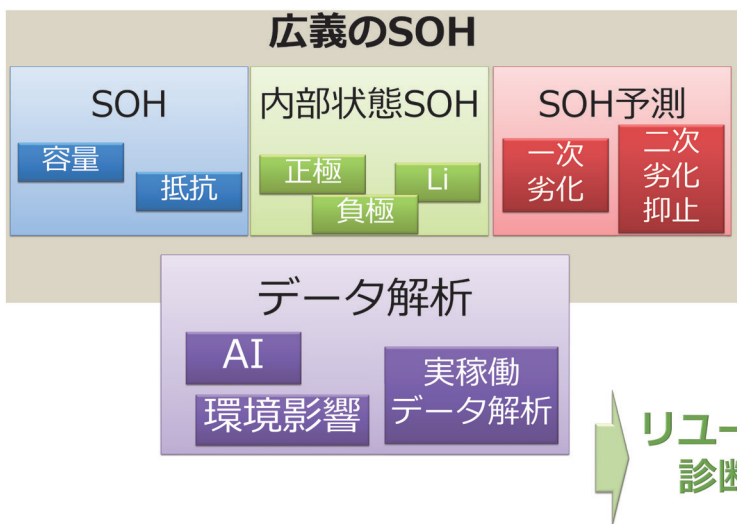


再就職
リユース



広義のSOH を利用した診断・査定・運用技術とリユースセルの安全性評価

[広義のSOH診断技術]



[安全性関連技術(カスタム評価)]

益々要求が高まる車載、定置用途向け中大型電池の安全性評価について、KRIでは専用施設「大型電池安全性評価・解析設備」で、各規格試験に加え、限界試験、発生物分析、解体分析によるメカニズム解析等を実施しています。

